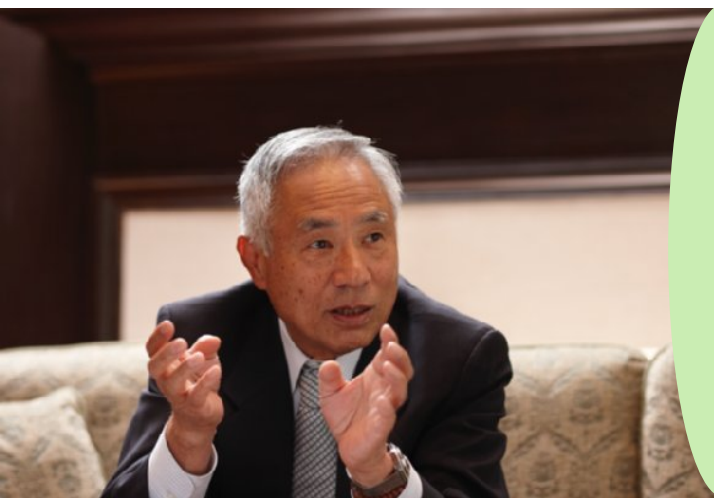


「コロナ騒だからこそ、 平穏死について語ろう」



石飛先生からの メッセージ

「老いて衰えて必ず訪れる老衰死、これは自然の決まりです。私は老人ホームで老いて死に向かう人々の看取りを行ってまいりました。ご家族に見守られながら、特別な処置を行うことなく、安らかに死を迎えることこそ、人の終末のあり方であると私は確信しております。私の講演が、死と向き合い、生き方を真剣に考えるきっかけとなれば、とても嬉しく思います（一部抜粋）」

【プロフィール】

座長 総合犬山中央病院 院長
齊藤 雅也

石飛 幸三 (いしとび こうぞう)

世田谷区立特別養護老人ホーム芦花ホーム 常勤医師 1935年生まれ。

1961年 慶応義塾大学医学部卒業。

1970年 ドイツで血管外科医として勤務。

1972年 東京都済生会中央病院勤務。

2005年より現職

執筆・講演・メディアを通して、なぜ自然な老衰死ができないかを問い続け、2010年刊行の『「平穏死」のすすめ』はベストセラーとなる。また 2015年放送のNHKスペシャル「老衰死～穏やかな最期を迎えるには～」に出演、大きな反響を呼んだ。最期まで楽しく生きることを支えるための医療・社会、まさしくACPの実践者である。

日時 2021年2月20日(土)
14:00～16:00

会場 総合犬山中央病院
北館3階会議室

開催形式 ZOOM活用によるハイブリット
(現地参加とオンライン参加)

主な著書：「家族と迎える平穏死」(廣済堂出版)
「平穏死という生き方」(幻冬舎)
「穏やかな死のために」(さくら舎)

参加費 無料

※参加をご希望される方は下記のメールアドレスよりお申し込み下さい。

E-mail: t-samori@inuyamachuohospital.or.jp

【2021年2月20日開催】石飛幸三先生講演会申込書

【参加方法】 下記のどちらかに○を付けてください。

現地参加 ・ Zoomによるオンライン参加

【連絡先】

施設名・事業所名	
担当者氏名	
メールアドレス	

【出席者】

職 種	氏 名

1月30日までにお申し込みください。

お問い合わせは犬山南地区高齢者あんしん相談センターへ

TEL 0568-62-2270 FAX 0568-68-7370